

小津監督作品

みんなで観たい話題作

みんなで観たい話題作

みんなで観たい話題作

話題の海外作品

お子様と一緒に

9月24日(土) 12:45~ (12:00より記念セレモニーがございます) 茅野市民館
小津監督の喜劇作家としての手腕が冴える傑作
「お早よう」
 近所付き合いの小さな波風に振り回される大人たちと、テレビを買ってとねだる子供たち。東京郊外の新興住宅地を舞台に、戦後の庶民生活を小津流に活写した作品で、軽さのある演出が際立っている。幼い兄弟のオナラのギャグが実に微笑ましい。
ゲスト：兼松熙太郎監督(24日)
 監督：小津安二郎 脚本：野田高梧、小津安二郎
 製作：1959年 配給：松竹 時間：94分

活動写真弁士が贈るサイレント映画

9月24日(土) 9:35~ 茅野市民館
ピーター・パンの存在そのものが、窮屈で想像力に欠ける大人社会への諷刺?
「ピーター・パン」
活動写真弁士：澤登翠さん
音楽：カラード・モノトーンデュオ
 ネヴァネヴァ・ランドに住む永遠の少年ピーター・パン(若き天才女優ベティ・ボンソン)はある時人間界を訪れて三人姉弟を連れ帰る。三人は多勢の永遠の少年達と一緒に面白く遊び暮らしていたが、ふとお父さんお母さんが怒りとなって人間界に帰ると言い出す。
 監督：ハーバート・ブレン 原作：J・M・バリヤー
 製作：1924年アメリカ
 作品提供：(株)マツダ映画社 時間：103分

第60回日本映画監督協会新人賞受賞作品

9月21日(水) 10:00~ 新新劇場
 9月25日(日) 10:00~ 茅野市民館
家族をひとつにしてくれたのは骨になった母でした。
「洗骨」
 短編映画「born, bone, 墓音。」を原案に、ゴリが本名の照屋年之義で監督、脚本を手がけた長編作品。新城家の長男・剛が母・恵美子の「洗骨」のために故郷の栗国島に帰ってきた。沖縄の離島・栗国島に残る風習「洗骨」をテーマに、家族の絆や祖先とのつながりをユーモアを交えて描いていく。
ゲスト：照屋年之監督(ガレッジセール:ゴリ) (25日)
 監督・脚本：照屋年之
 製作：2018年 時間：111分 配給：ファンタム・フィルム

第61回日本映画監督協会新人賞受賞作品

9月25日(日) 13:30~ 新新劇場
私の「時間」が刻みはじめる
「37セカンズ」
 出生時に37秒間呼吸ができなかったために、手足が自由に動かない身体になってしまった女性の自己発見と成長を描き、第69回ベルリン国際映画祭パノラマ部門で観客賞とCICAEアートンネマ賞を受賞した人間ドラマ。脳性麻痺の貴田夢馬(ユマ)は、異常なほどに過保護な母親のもとで車椅子生活を送りながら、漫画家のゴーストライターとして空想の世界を描き続けていた。
ゲスト：HIKARI監督(25日)
 監督・脚本：HIKARI
 製作：2019年 時間：115分 配給：エレファントハウス

9月20日(火) 14:00~ 9月24日(土) 16:00~ 新新劇場
戦争に負けてもこの国は誰にも渡さない。
「日本独立」
 第2次世界大戦直後のGHQ占領下の日本を舞台に、一刻も早い日本の独立を求めて尽力した吉田茂と白洲次郎を描いた人間ドラマ。親子はとも年の離れた2人の絆を軸に、終戦から憲法制定、独立までの歴史の舞台裏を、日米両国の視点からスリリングに描く。終戦直後に外務大臣に就任した吉田茂は、日本の再出発のため、旧知の仲である白洲次郎を呼び寄せる。
ゲスト：伊藤俊也監督(24日)
 監督・脚本：伊藤俊也 製作：2020年
 配給：シネメディア 時間：127分

9月17日(土) 10:00~ (9:40よりオープニングセレモニーがございます) 新新劇場
 9月22日(木) 14:00~ 新新劇場
初の日本地図に隠された、驚くべき秘密とは?
「大河への道」
 落語家・立川志の輔による新作落語「大河への道 伊能忠敬物語」を映画化。主演の中井貴一をはじめ、松山ケンイチ、北川景子らキャストがそれぞれ1人2役を務め、現代を舞台に繰り広げられる大河ドラマ制作の行方と、200年前の日本地図完成に隠された感動秘話を描き出す。千葉県香取市役所では地域を盛り上げるため、初めて日本地図を作ったことで有名な郷土の偉人、伊能忠敬を主人公にした大河ドラマの開発プロジェクトが立ち上がる。
 監督：中西健二 原作：立川志の輔 脚本：森下佳子
 製作：2022年 配給：松竹 時間：112分

小津安二郎映画を聞く
音語り「麦秋」
 ●小津安二郎・山内静夫を語る
 ●音語り 中井貴恵さん(朗読) 松本峰明さん(ピアノ)

9月25日(日) 13:00~
茅野市民館
コンサートホール
 映画祭のチケットでご鑑賞いただけます。

9月20日(火) 10:00~ 新新劇場
 9月25日(日) 17:00~ 茅野市民館
ただいま。このひと言のために、旅に出る。
「男はつらいよ お帰り寅さん」
 山田洋次監督による国民的人情喜劇「男はつらいよ」シリーズの50周年記念作品。倍賞千恵子、前田吟、吉岡秀隆らに加え、シリーズの看板俳優であり、96年に亡くなった瀧美清も出演。柴又の帝釈天の参道に於てあった団子屋「くるまや」は、現在はカフェに生まれ変わっていた。その裏手にある住居では車寅次郎の甥である満男の妻の7回忌の法事で集まった人たちが昔話を花を咲かせていた。
 監督・原作：山田洋次 脚本：山田洋次、朝原雄三
 製作：2019年 配給：松竹 時間：116分

9月18日(日) 14:00~ 新新劇場
 9月24日(土) 15:30~ 茅野市民館
あの人を愛したから、その神様に会えました。
「キネマの神様」
 松竹映画の100周年を記念した作品で、人気作家・原田マハの同名小説を山田洋次監督が映画化。「映画の神様」を信じ続ける男の人生と、彼を取り巻く人々との愛や友情、家族の物語を描く。映画監督を目指し、助監督として撮影現場で働く若き日のゴウは、撮影所近くの食堂の娘・淑子や仲間映写技師テラシんとともに夢を語らい、青春の日々を駆け抜けていた。
 監督：山田洋次 原作：原田マハ
 製作：2021年 配給：松竹 時間：125分

長野県内で撮影された作品

9月17日(土) 14:00~ 新新劇場
 9月22日(木) 19:00~ 新新劇場
サヨナラがくれた僕たちのはじまりの物語
「サヨナラまでの30分」
 バンド「ECHOLL」がメジャーデビューを目前に解散してから1年後、メンバーたちの前に突然見知らぬ大学生の颯太が現れた。バンド再結成をメンバーに迫る颯太の中身は、なんと1年前に死んだボーカルのアキだった。颯太が偶然拾ったカセットテープを再生する30分だけ、アキは颯太の体を借りて入れ替わる。
 監督：萩原健太郎 脚本：大島里美 製作：2020年
 配給：アスミックエース 時間：114分

9月20日(火) 19:00~ 新新劇場
 9月25日(日) 13:00~ 茅野市民館
監督：李 相日が描く、愛より切ない物語。
「流浪の月」
 2020年本屋大賞を受賞した風良ゆうのベストセラー小説を、「怒り」の李相日監督が広瀬すずと松坂桃李の主演で映画化。ある日の夕方、雨の公園でびしょ濡れになっていた10歳の少女・家内更紗に、19歳の大学生・佐伯文が傘をさしかける。
 監督：李相日 原作：風良ゆう 製作：2022年
 配給：ギャガ 時間：150分
 ©2022「流浪の月」製作委員会

第94回米アカデミー賞 国際長編映画賞受賞
第45回日本アカデミー賞 最優秀作品賞受賞
 9月24日(土) 18:30~ 茅野市民館
この運命から、目を逸らさない。
「ドライブ・マイ・カー」
 舞台俳優で演出家の家福悠介は、脚本家の妻・音と幸せに暮らしていた。しかし、妻はある秘密を残したまま他界してしまう。2年後、喪失感を抱えながら生きていた彼は、演劇祭で演出を担当することになり、愛車のサブで広島へ向かう。そこで出会った寡黙な専属ドライバーのみさぎと過ごす中で、家福はそれまで目を背けていたあることに気づかされていく。
 監督：濱口竜介 原作：村上春樹 製作：2021年
 配給：ピタース・エンド 時間：179分

9月19日(月) 14:00~ 新新劇場
 9月25日(日) 16:30~ 新新劇場
絶体絶命のピンチ!
「老後の資金がありません!」
 家計に無頓着な夫の章、フリーターの娘まゆみ、大学生の息子・勇人と暮らす平凡な主婦・後藤藤子。夫の給料と彼女がパートで稼いだお金をやり繰りし、コツコツと老後の資金を貯めてきた。しかし、亡くなった舅の葬式代、パートの突然の解雇、娘の結婚相手が地方実業家の御曹司で豪華な結婚式を折半で負担、夫の会社が倒産と、節約して貯めた老後の資金が……
 監督：前田哲 原作：垣谷美雨 脚本：斉藤ひろし
 製作：2021年 配給：東映 時間：115分

9月17日(土) 18:00~ 新新劇場
 9月24日(土) 19:30~ 新新劇場
俺の音楽は生き続ける
「20歳のソウル」
 千葉県船橋市立船橋高校に代々受け継がれている応援曲「市船sou」にまつわる実話を、「彼女が好きなのは」などで注目を集める若手俳優の神尾楓珠と、日本映画界を代表する女優・佐藤浩市の共演で映画化。市立船橋高校吹奏楽部でトロンボーンを担当する浅野大蔵は、活発でやさしく、まっすぐな性格で、顧問である高橋健一先生に大きな影響を受けながら、青春を謳歌していた。
 監督：秋山純 原作・脚本：中井由梨子
 製作：2022年 配給：日活 時間：136分

9月23日(金・祝) 16:30~ 新新劇場
複数の人生を組み合わせると見えたものとは?
「アクトレス・モンタージュ」
 4人の売れない女優。薬と宗教に助けを求めたアイドル。大きなチャンスの舞台でパワハラに耐える新人。夢より現実を選んだ主婦。田舎から上京して芸能界の闇に翻弄される女優の原石。決して合流することのない4人の人生をモンタージュして見えたものとは?
ゲスト：花岡咲さん・主演俳優(23日)
 監督：水口紋蔵 脚本：山内直哉
 製作：2021年 時間：74分

9月22日(月) 10:00~ 新新劇場
 9月25日(日) 19:30~ 新新劇場
映画を愛する全ての人に捧げる作品
「ワン・セカンド 永遠の24フレーム」
 北京2022冬季オリンピック・パラリンピックで開閉会式の総監督を務めたことで注目を集めた巨匠チャン・イーモウ監督が、映画をめぐるさまざまな思いを描いた人間ドラマ。1969年、文化大革命下の激動の中国、造反派に抵抗したことで強制労働所送りになった男は、妻に愛想を尽かされ離婚となり、最愛の娘とも親子の縁を切られてしまう。
 監督：チャン・イーモウ 製作：ドン・ビン ビル・コン
 製作：2022年 中国映画 配給：ツイン 時間：103分

9月18日(日) 18:00~ 9月21日(水) 19:00~ 新新劇場
いろいろな形、さまざまな色、それぞれが唯一無二。
「だれもが愛しいチャンピオン」
 バスケットボールのプリリーグでコーチを務めるマルコは問題を起こし、解雇されてしまう。裁判所から社会奉仕を命じられたマルコはハンディキャップを持つ選手たちのチームコーチとなる。彼らの純粋さや情熱、豊かなユーモアに触れたマルコは一念発起し……。出会いと絆を描いた心温まる感動ドラマ。
 監督：ハビエル・フェセン
 脚本：ダビド・マルケス、ハビエル・フェセル 製作：2018年
 製作国：スペイン 配給：シシカ 時間：118分
 ©Rey de Babia AIE, Películas Pendelton SA, Morena Films SL, Telefonica Audiovisual Digital SLU, RTVE

9月19日(月・祝) 18:00~ 9月21日(水) 14:00~ 新新劇場
都会から辺境の村へ赴任した教師と村人たちの心の交流を描いた感動作。
「ブータン 山の教室」
 標高4800メートルにあるルナナ村を舞台に、ミュージシャンを夢見る若い教師ウグンは、ブータンで最も僻地にあるルナナ村の学校へ赴任するよう言い渡される。村人たちのシンプルながらも尊い暮らしを美しい映像で描き、本当の幸せとは何かを問いかける。
 監督・脚本：パオ・チョニン・ドルジ 製作：2019年
 製作国：ブータン 配給：ドマ 時間：110分
 ©2019 ALL RIGHTS RESERVED

当映画祭の短編で、グランプリを獲得した古本恭一監督が描く近未来ディストピアサバイバル

9月23日(金・祝) 19:00~ 新新劇場
運命に抗い生き残れ (海外映画祭2冠)
「CODE-D 魔女たちの消えた家」
 「不完全世界」でも古本監督とタッグを組んだ水津亜子と新宮明日香が主演を務める。すべての国民がAからEの5階級に振り分けられる国民保護法が施行された2057年。「東秩父女子D山荘」では、敷地の外に出ることができないDクラスの女性8人が共同生活を送っている。そこにBクラスの男が侵入してきたことで、彼女たちの間に不協和音が生じはじめる。
ゲスト：古本恭一監督(23日)
 監督：古本恭一 脚本：水津亜子 製作：2022年
 配給：komotodact 時間：104分
 ©Copyright 2022 komotodact All Rights Reserved.

9月19日(月・祝) 10:00~ 新新劇場
 9月23日(金・祝) 10:00~ 新新劇場
いつもの町に訪れる青い月の夜、ふしぎな物語は始まります。
「映画 すみっこぐらし 青い月夜のまほうのこ」
 とある秋の日、キャンプへ出かけたすみっこたちは、空にいつもより大きく青く輝いている月を発見する。「5年に1度の青い大満月の夜、魔法使いたちがやって来て夢をかなえてくれる」という伝説の通り、すみっこたちの町に魔法使いの5人兄弟が出現。彼らはあちこちに魔法をかけ、町中をパーティ会場のように彩っている。
 監督：大森貴弘 脚本：吉田玲子
 製作：2021年 配給：アスミック・エース 時間：65分

9月18日(日) 10:00~ 9月23日(金・祝) 13:00~ 新新劇場
 9月24日(土) 10:00~ 新新劇場
夢よ、どこまでも響け。
「SING/シング:ネクストステージ」
 パスターには、クリスタル・タワー・シアターで新たなショーを披露するという大きな夢があり、夢を達成するため、劇団員とソロで活動をしていたアッシュを連れて経営者のジミー・クリスタルのオーディションに飛び込みで参加したが、あえなく落選。そこで、グンターはジミーの気を引くため、隠通している伝説のロック歌手クレイ・キャロウェイを出演させるという、突発的なアイデアを提案した。
 監督：カース・ジェニングス
 製作：クリス・メレダントリ ジャネット・ヒーラー
 製作：2021年 配給：東宝東和 時間：110分

パネル展開催
当映画祭 最高顧問
山内静夫氏
を偲んで

茅野市民館ロビー
 9月24日(土)・25日(日)
 松竹大船影新社に映画プロデューサーとして入社、小津安二郎監督映画制作を担った山内静夫氏。その後もVTR、マナーなどプロデューサー、鎌倉グループコミュニケーション・シネマ、表取締役社長、鎌倉文学館館長、鎌倉市芸術文化振興財団理事長などを歴任。二〇二二年八月十五日(九十八歳)没

ツアーバス 無料運行 9/24, 25
茅野市民館 正面入口 ← 約20分 → 蓼科 無藝荘

茅野市民館 正面入口発	蓼科 無藝荘発
9:00	9:30
10:00	10:30
11:00	11:30
13:00	13:30
14:00	14:30
15:00	15:30
16:00	16:30

無藝荘 ← 徒歩18分 → 一本桜
 一本桜 ← 徒歩10分 → 笠智衆山荘
 笠智衆山荘 ← 徒歩6分 → 新・雲呼荘